



6年生 人権発表「平和セシモニー」

今回のハートアップは11月に6年生が発表した人権学習の内容を紹介します。

6年生は、これまで平和学習として学んできた戦争と平和について発表しました。はじめは「戦争はしてはいけない。」というくらいの認識でしたが、戦争を体験した方にお話を聞いたことや修学旅行での体験を通して平和への想いはだんだんと強くなっていきました。今回の発表は修学旅行で行った平和記念公園での平和セシモニーを人権発表バージョンにアレンジしました。修学旅行での平和セシモニーでは戦争の悲惨さや平和の願いを伝えました。そして周りで見えていた方々に感動を与え、涙を流す方や動画を撮影していた方がいました。子どもたちは戦争を体験してはいませんが、確かにここに受け継がれている願いや思いが見られました。学校での人権発表では、1年生から5年生まで聞いていたすべての児童が真剣に聞いている様子が見られました。下の詩は、6年生28人が平和を願い考えた詩です。平和セシモニーでも心を込めて発表しました。ぜひ一読していただきたいです。それでは、各学年の振り返りを紹介します。


戦争のせいだ

「ビカドーン」
原爆が落とされた一九四五年
たぐさんの人が犠牲になった
戦争の悲しさ 怖さ 悲惨さ
世界のどこかで
戦争が起きている
大切なはずの
毎日の幸せが
家族が 友達が 命が
花のように散った
それは戦争のせいだ
だけど本当なのか

戦争のせいだ
私たちの平和だった暮らしや
国がパズルのように崩れてゆく
悲しい命の奪い合いで
重たい命が失われてゆく
誰もが被害者で、
誰も予想できなかった
恐ろしい戦争
悲しい戦争
怖い戦争
特大な戦争
誰と戦っている
私達をこんなにも苦しめたのは
誰だ
誰かが始めた争いこそ 戦争だ
戦争のせいなんだ
誰かのせいなんだ
だけど本当なのか

奈良県葛城市立新庄北小学校 六年

二十四時間、三百六十五日
毎日の幸せと
戦争で奪われた人々の
幸せを噛み締めながら
私達で生きてゆこう
戦争で奪われた人々の
明日という未来を受け継いで
この命を大切に生きていこう
戦後八十年の今
私達は
「戦争のせいだ」
「誰かのせいだ」と
全てを何かのせいにするのはやめよう
戦後八十年の今
二度と同じ過ちをおかさないように
二度と戦争を起こさないように
新しい考えを少しずつ踏み出そう
平和への第一歩を踏み出そう
さらに明るい未来へ



各学年の振り返り

1年生

- ・6ねんせいのはなしをきいて、せんそうはみんながかなしくなるのに、なぜせんそうをするひとがいるのかなとおもいました。ぼくは、せんそうをしたくないです。
- ・せんそうは、にどとおきてほしくないとおもいました。せんそうをしないために、わたしはともだちとなかよくしようとおもいました。

2年生

- ・自分が今生きていることができて、本当によかったな、きせきだなと思いました。今のへいわな生活をつづけるために、ぼくもみんなも考えないといけないと思います。
- ・せんそうは、小さなことからはじまって、どんどん大きくなるんだなとこわくなりました。人の気持ちを考えて行どうしたいです。

3年生

- ・どうしたら、国と国が仲良くなって、争いごとのない世界になるのか考えました。こたえは、簡単には分からないけど、いつも平和について考えていきたいです。
- ・わたしも、家族が戦争に行ってしまうなんて考えたらありえないと思います。今の平和はまだ小さいかもしれないけれど、みんなが集まれば大きな平和になると思います。

4年生

- ・私たちが今学校で勉強をしたり、ご飯を食べたり、ゲームをしたりできることはあたりまえではないんだなと思いました。自分の命を大切に生きていこうと思います。
- ・今、他の国では戦争をしているのでその国にも平和を願いたいです。そして戦争のない世界にしたいです。自分たちが広島に行くときもしっかりと学びたいです。

5年生

- ・6年生の言葉の中に、全部が戦争のせいじゃないかもとあり、たしかに戦争のせいで命を落とした人もいっぱいいるけど、それだけではないと感じました。
- ・平和であたりまえな世界になるために、協力しあって、どんな人にもやさしくなれる人になりたいです。

6年生

- ・自分たちで考えた世界に1つしかない詩だからこそ先生や1年生から5年生に伝わったのだと思う。いつかみんなも修学旅行に行くときがあるので、そこで考えをさらに深めてほしい。そのことをまた人権発表として、まだ行っていない学年に伝えてほしい。その繰り返して平和につながると思う。